

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室  
 TEL：03-5253-8111 内線42354  
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

### リコール届出一覧表

リコール届出日：平成31年3月12日

リコール届出番号	4456	リコール開始日	平成31年3月13日	
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 日高 祥博 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>問い合わせ先：カスタムコミュニケーションセンター 0120-090-819</td> </tr> </table>			問い合わせ先：カスタムコミュニケーションセンター 0120-090-819
問い合わせ先：カスタムコミュニケーションセンター 0120-090-819				
不具合の部位（部品名）	車載式故障診断装置（エンジンコントロールユニット）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	車載式故障診断装置において、エンジンコントロールユニット（ECU）のプログラムが不適切なため、外部診断器（スキャンツール）接続後にECUが保安基準第31条の基準に適合しない通信処理を行う。そのため、スキャンツールによってはECUとの通信が不能となり、故障診断ができないおそれがある。			
改善措置の内容	全車両、エンジンコントロールユニットのプログラムを対策プログラムに書き換える。			
不具合件数	2件	事故の有無	なし	
発見の動機	市場からの情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメールで通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）にNo. 4456のステッカーを貼付する。</li> </ul>			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	2BK-DG31J	「SEROW XT250」	DG31J-000013～DG31J-002469 平成30年8月9日～平成31年2月8日	2,262台	
	2BK-DG32J	「tricker XG250」	DG32J-000011～DG32J-000596 平成30年8月23日～平成31年2月7日	542台	
	（計2型式）	（計2車種）	（製作期間の全体の範囲） 平成30年8月9日～平成31年2月8日	（計2,804台）	

（備考）リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。